

フィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジン

フィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジンの特徴を活かした接着臨床

須崎 明 先生

愛知県北名古屋市 ぱんだ歯科

重合収縮が小さく、4mmの硬化深さを有するフィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジンの特徴を生かした臨床手技について、須崎明先生にご解説いただきました。



日々の臨床におけるフロアブルコンポジットレジンと新規フロアブルコンポジットレジンの特徴

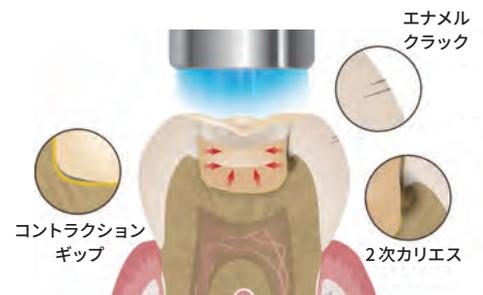
近年、日本の歯科臨床におけるフロアブルコンポジットレジンの広がりを目覚ましく、世界的にみても日本は接着臨床にフロアブルコンポジットレジンを使いこなしている臨床家が多いのではないだろうか。その背景には異なる粘稠性と高い機械的物性をもつフロアブルコンポジットレジンの開発が大きく影響している。一方「サッと流れ、キレがよく、ピタッと留まる」という特徴的な物性により、1つの粘稠性で充填から補修修復まで幅広い症例に対応できるフィルテック™ シュープリーム ウルトラ フロー コンポジットレジンはその簡便さや在庫管理を容易にしやすいという点で愛用している歯科医師も多い。

この度、この使いやすさはそのまま、より幅広い接着臨床に対応したフィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジンが発売された。本製品は従来製品と比較して重合収縮量が小さくなっただけでなく、重合収縮の際に窩壁に及ぼす応力が約半分程度であり、深い窩洞においても4mmまで一度に填塞することが可能となった。重合収縮応力が大きいと接着面の漏洩のみならず、残存歯質におけるクラックといったリスクを上昇させるといわれている。重合収縮応力の軽減による臨床への貢献は目に見えにくい物であったとしても、歯科医師にとって大変安心できる特徴と言える。

重合収縮応力は裏層のみならずCファクターが大きくなるレジン築造時に重要である。本製品は製品名からも分かるように、裏層ならびにレジン築造にも使用可能となっている。そこで今回はフィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジンの特徴を活かした効率的かつ優れた予後が期待できる接着臨床を、直接修復、間接修復の両面から紹介したいと思う。



フィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジン



重合収縮応力のイメージ
界面から離れようとする力によって、接着破壊、漏洩、残存歯質におけるクラックなどのリスクがあがる。

フィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジンを用いた間接修復



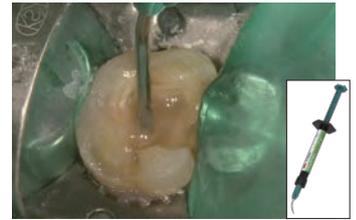
感染根管治療後の上顎第一大臼歯。



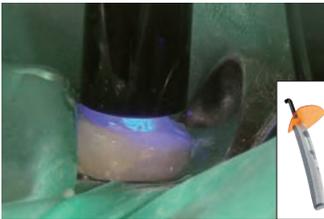
ポスト孔は形成せずレジンのみの支台築造をすることとした。



スコッチボンド™ユニバーサルアドヒーズブを塗布、エアブロー後、照射した。



本製品のユニバーサル色を充填、照射した。ユニバーサル色は他のシェードよりも光透過性が高いため照射時間も半分に出る。



照射光が均一に深部まで到達するエリバー™ ディープキュア LED 光重合器により本製品を重合することで効率的かつ確実な支台築造が可能となる。



光照射直後の同部位。



セラミックアンレーの支台歯形成を行った。



セラミックアンレーをリライエクス™ アルティメットレジンセメントにて装着した。
(技工物作製：東海歯科医療専門学校 長谷川 彰人氏)

平成26年度診療報酬改定では支台築造に関して「3壁以上残っていれば、スクリーポスト等を使用しなくても算定可能」とされた。本症例では支台築造の中心となるコア部を維持する歯根部と歯冠部の歯質が十分に残存している為、ポストを付与する必要がない。これによって根管部の歯質を保存できるため、歯根破折の予防につながる。さらに本製品を用いることでより確かな接着を獲得し、歯冠部歯質を一体化することにより、コロナリケージを回避し歯内療法の長期的な予後安定が期待できる。

フィルテック™ フィル アンド コア フロー コンポジットレジンを用いた直接修復



一過性の冷水痛を伴う下顎第二大臼歯。



出来るだけ健全なエナメル質を残させ感染象牙質を除去した。



窩洞形成後は咬合面と頬側面の窩がトンネル窩洞にて交通した複雑な窩洞となった。



スコッチボンド™ユニバーサルアドヒーズブを塗布、エアブロー後、照射した。



窩洞の9割を重合収縮量が小さく、重合収縮応力の緩和に優れた本製品 (A2) にて一括充填し、裏層を完了した。



本製品は4mm一括充填を可能にするため透明性が高い。審美性を考慮して、最表面にフィルテック™ シュープリムウルトラコンポジットレジン (A2B) を充填した。



研磨後の同部位。患者が求める審美修復を提供することができた。窩洞が変色している場合には、修復部位が暗くなる事があるため注意すること。



2週間後の同部位。術後疼痛は認められず経過は良好である。

本症例では術前の咬合関係を保存するため、健全なエナメル質を可及的に保存した。そのため窩洞は象牙質の裏打ちのない遊離エナメル質を含む複雑かつ大きな窩洞となった。このような場合、術後疼痛を回避するために、重合収縮応力が小さく効率的なCR修復を可能とする本製品の有用性は高い。

3M、フィルテック、スコッチボンド、エリバー、リライエクスは、3M社の商標です。

※掲載の内容は、2018年2月現在のものです。

3M

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

歯科用製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2018. All Rights Reserved.
DEN-1559-AJ (021830) DN/DN

Web 3M 歯科

3M コールセンター
0120-332-329

9:00~17:00 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
フリーダイヤルが繋がらない場合は、
03-6409-3157をご利用ください。